

1. 学会関連情報

○第3回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会(発表申込の締切:8月31日)

<http://www.2021kanazawa.jrsm.jp/>

○日本保健物理学会シンポジウム 変わりつつある医療放射線防護: マネージメントシステムと生殖腺防護 (9月11日開催)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/conv/page.cgi?id=93>

○人文・社会科学的視点から考察する自然起源放射性物質含有廃棄物の取扱い専門研究会 第5回会合議事録の公開(8月13日)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/info/page.cgi?id=69>

○エックス線被ばく事故検討WG 議事概要等の公開(8月14日)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/info/page.cgi?id=87>

○RI施設における放射線管理を目的とした測定の信頼性確保に関する専門研究会 第2回会合議事録の公開(8月20日)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/info/page.cgi?id=83>

○放射線防護を理解するための Webinar: ヒトでの放射線影響、ならびに放射線がんリスク・放射線防護についてのご案内 (9月17日)

<http://www.umbrella-rp.jp/ref.php>

2. 関連する研究情報

論文紹介

○Health Phys. 2021 Sep 1;121(3):225-233.

最初の Oxford Survey of Childhood Cancer が発表されて以来、診断用 X 線による出生前の被ばくに関連するリスクが認識された。その後、多くの研究が行われ、このレビューでは、最近の疫学研究の結果をまとめている。ほとんどの国際的なガイドラインは、比較可能で、かなり保守的なリスク係数を提供しており、妊婦の腹部検査を推奨していない。

Prenatal X-ray Exposure and the Risk of Developing Pediatric Cancer-A Systematic Review of Risk Markers and a Comparison of International Guidelines

F. Wit, et al.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34261894/>

○Radiol Phys Technol. 2021 Jun. Online ahead of print.

Particle and Heavy Ion Transport code System (PHITS)は、汎用のモンテカルロシミュレーションコードであり、様々な種類の放射線治療への応用、遮蔽計算、放射線生物学への応用、医療機器の研究開発など、様々な分野で応用されている。本論文は、様々な医療応用の実例を挙げながら、PHITSの有用な機能を解説する。

Medical application of particle and heavy ion transport code system PHITS

T Furuta, T Sato

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34195914/>

○Disaster Med Public Health Prep. 2021 Aug 16;1-5. Online ahead of print.

福島第一原子力発電所事故に対する日本の看護師の対応は不十分であったと指摘されている。本研究では、日本の看護基礎教育機関 1053校の管理者と教員を対象に質問紙調査を行い、放射線看護教育の課題を検討した。日本の看護教育では原子力災害への対応が困難であり、現在の看護教育システムを検証し、原発事故の経験を踏まえた新たなモデルを構築することは喫緊の課題である。

Issues in Radiation Nursing Education in Japan Before and After the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident

T. Horiuchi, et al.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34396951/>

○Radiat Environ Biophys. 2021 Aug;60(3):485-491. Epub 2021 Jul 4.

ここ数年、低線量率職業研究で観察されたリスクと、日本の原爆被爆者の年齢・性別を適切に調整した解析結果を直接比較することにより、線量率の外挿の効果を評価する試みがなされている。この論文では、低線量率の研究で推定された過剰相対リスクと日本の原爆被爆者の過剰相対リスクとの比を比較する際の潜在的な統計的問題、特に、この比には明確に定義された平均値と理論的に束縛されない分散が存在しないことについて議論した。

Methodological improvements to meta-analysis of low dose rate studies and derivation of dose and dose-rate effectiveness factors

MP Little, et al.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34218328/>

3. ニュースや社会の動き

○日本アイソトープ協会 令和3年度放射線安全取扱部会年次大会のお知らせ(8月10日)

https://www.jrias.or.jp/annual_meeting/index.html

○QST 第73回日米学生会議の開催の報告(8月11日)

<https://www.qst.go.jp/site/rokkasyo/kouhou.html>

○IAEA China Opens Asia's First Facility to Treat Medical Wastewater Using Electron Beam Technology(8月11日)

<https://www.iaea.org/newscenter/news/china-opens-asias-first-facility-to-treat-medical-wastewater-using-electron-beam-technology>

○原子力規制委員会 関西電力(株)から大飯発電所3号機で発生した循環水管からの海水漏えいについて報告を受理(8月13日)

https://www.nsr.go.jp/activity/bousai/trouble/houkoku_new/220000054.html

○日本原子力学会 Insights Concerning the Fukushima Daiichi Nuclear Accident Vol.2-3 公開のお知らせ(8月16日)

<https://www.aesj.net/insights-concerning-the-fukushima-daiichi-nuclear-accident-vol-2-3-publication-notice>

○日本学術会議ニュース・メール(8月20日)

http://www.scj.go.jp/ja/other/news/20210820_763.pdf

○環境省「放射線の健康影響に係る研究調査事業」令和4年度 新規研究課題の公募開始のご案内(締切 9月21日 正午)

<http://www.env.go.jp/chemi/rhm/study.html>

○環境省「ぐるぐるプロジェクト」のご案内、「ラジエーションカレッジ」の公募

「ぐるぐるプロジェクト」(<https://www.env.go.jp/chemi/rhm/portal/communicate/>)

「ラジエーションカレッジ」(<http://www.env.go.jp/press/109885.html>)

○原子力規制庁、令和2年度委託調査費に関する成果物の公表

https://www.nsr.go.jp/nra/shotatsu/yosanshikou/itaku_houkoku-r_r2.html

○公益財団法人原子力安全研究協会、令和 2 年度原子力規制庁委託成果報告書「国際放射線防護調査」、令和 3 年 3 月

<https://www.nsr.go.jp/data/000360206.pdf>

○日本エヌ・ユー・エス株式会社、令和 2 年度放射線対策委託費、国内規制に係る国際放射線防護委員会刊行物の調査、成果報告書、令和 3 年 3 月

<https://www.nsr.go.jp/data/000360205.pdf>

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、令和 2 年度放射線安全規制研究戦略的推進事業費（内部被ばく線量評価コードの開発に関する研究）事業、成果報告書、令和 3 年 3 月 31 日

<https://www.nsr.go.jp/data/000360213.pdf>

○公益財団法人 放射線影響協会、令和 2 年度原子力施設等防災対策等委託費（低線量放射線による人体への影響に関する疫学的調査）事業、令和 3 年 3 月

<https://www.nsr.go.jp/data/000360228.pdf>

○福島県立医科大学、令和 2 年度放射線安全規制研究戦略的推進事業費（福島原発事故の経験に基づく防護措置に伴う社会弱者の健康影響と放射線リスクの比較検討に関する研究）事業報告書、令和 3 年 3 月

<https://www.nsr.go.jp/data/000360232.pdf>

4. これからのイベント

○公益社団法人 日本放射線技術学会、「第 1 回 放射線影響と防護量の考え方を学ぶ Web セミナー」(2021 年 10 月 3 日 (金)、Web 開催)

<https://www.jsrt.or.jp/data/news/47258/>

○公益社団法人 日本放射線技術学会、日本診療放射線技師会、「第 15 回日本放射線技術学会・日本診療放射線技師会 合同公開市民講座 東北からはじまる世界最先端のがん治療ーきいて、みて、なっとくー」(2021 年 11 月 3 日、東北大学医学部 星稜会館(宮城県仙台市青葉区星稜町 1-1))

<https://www.jsrt.or.jp/data/news/47250/>

○IAEA、「International Conference on the Safety and Security of Radioactive Sources (IAEA 放射線源セキュリティ国際会議)」(2022年6月20-24日、オーストリア ウィーン IAEA 本部,発表申込期限:2021年9月25日)

<https://www.iaea.org/newscenter/news/call-for-papers-international-conference-on-the-safety-and-security-of-radioactive-sources>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所計測・線量評価部放射線計測グループ 期制常勤職員(技術職/技術員)1名(8月26日締切)

<https://www.qst.go.jp/site/fixed-term/52495.html>

○日本文理大学 保健医療学部(設置構想中につき採用に前提条件有)放射線安全管理分野 教授1名,核医学検査技術学分野 教授1名,診療画像技術学分野 教授・准教授各1名,放射線基礎科学分野 准教授1名 等々(9月6日締切)

<https://www.nbu.ac.jp/guide/recruitment/>

○量子科学技術研究開発機構 関西光科学研究所 抗体の分子シミュレーションによる高性能化に関する研究開発(生体分子シミュレーショングループ) 博士研究員1名(9月6日)

<https://job.axol.jp/vb/c/qst/public/job/detail/6HsrFEkO3qzb->

○長崎大学先導生命科学研究支援センター 放射線生物・防護学分野(アイソトープ実験施設) 助教1名(9月16日締切)

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/career/>

○長崎大学原爆後障害医療研究所 放射線リスク制御部門 国際保健医療福祉学研究分野 助教1名(9月16日)

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/career/>

○日本医療科学大学 保健医療学部 医療・基礎教育科(物理学系) 助教1名(11月30日)

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D121081189&ln_jor=0

— —

【発行】一般社団法人日本保健物理学会

